

授 業 目 名	義肢・装具学	授業形態	講義
		配当学期	2年(前期)
担 当 教 員 名	開発 基文、前谷 一旗	単位数	1単位
		時間数	30時間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 義肢・装具療法はリハビリテーション医療の柱の一つである。様々な疾患で処方される、義肢や装具について、名称や適応だけでなく、疾患や運動学・力学的理論と材料・製作についても含め学習する。</p> <p>〔学習目標〕 義肢・装具の名称、適応の理解。 製作に関する知識の獲得。 義肢・装具の運動学・力学的な理解。</p>		
授 業 回 数	授業の内容		
第 1 回	義肢装具学総論	〔開発〕	
第 2 回	義肢総論	〔開発〕	
第 3 回	義手の構成要素	〔開発〕	
第 4 回	切断者の評価	〔開発〕	
第 5 回	切断者に対するアプローチ	〔開発〕	
第 6 回	筋電義手の構成、評価	〔開発〕	
第 7 回	筋電義手の訓練	〔開発〕	
第 8 回	義肢学 まとめ	〔開発〕	
第 9 回	装具総論	〔前谷〕	
第 10 回	上肢装具の目的、分類	〔前谷〕	
第 11 回	上肢装具各論	〔前谷〕	
第 12 回	適応疾患例①	〔前谷〕	
第 13 回	適応疾患例②	〔前谷〕	
第 14 回	適応疾患例③	〔前谷〕	
第 15 回	適応疾患例④	〔前谷〕	
評 価 方 法	定期試験(80%)、小テスト(20%)		
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕作業療法学全書 義肢装具学(協同医書) 義肢装具のチェックポイント(医学書院)		
履 修 上 の 留 意 点	解剖学、運動学、整形外科学、物理学の知識が不可欠。		
メッセー	作製上のポイントや、力学的特性など理解すべき点は多岐にわたりますが、しっかりと理解できるよう講義に臨んでください。		